

特別展「神業ニッポン 明治のやきもの—幻の横浜焼・東京焼—」関連行事

記念講演会

幻の横浜焼・東京焼—その魅力にせまる—

日時: 4月25日(日) **参加無料** **要事前申込**

14:00~15:30 (開場は13:30)

講師: 荒川正明氏

(学習院大学教授 本展監修者)

会場: 滋賀県立陶芸の森

信楽産業展示館 ホール



宮川香山
「高取釉高浮彫蟹花瓶」1916年
田邊哲人コレクション
(神奈川県立歴史博物館寄託)

近代の幕開けとともに海外に輸出された日本の陶磁器は、欧米の万国博覧会等で高く評価されました。1859年の開港以来、横浜港が主要な輸出地だったこともあり、横浜や東京には国内の各地から500を超える陶磁関係の業者が集まって活動を成し、陶磁器産業の中心地になりました。

本講演会では、輸出品のため、国内に現存する作品が稀で制作過程や実態に謎が多い「横浜焼・東京焼」の魅力についてお話いただきます。



井村彦次郎
「色絵人物文碗・皿、鉢」田邊哲人コレクション

※申込方法: ①イベント名、②氏名(ふりがな)
③住所、④電話番号を記入の上、
下記いずれかの方法でお申し込み
ください。

電話=0748-83-0909 / FAX=0748-83-1193

E-mail= mori-otoiawase@sccp.jp



荒川正明(あらかわ・まさあき)

学習院大学文学部哲学科教授(美術史専攻)。
1961年茨城県生まれ。84年学習院大学文学部哲学科卒業、87年同大学大学院人文科学専攻修士課程を修了。(財)出光美術館学芸員を経て2008年より現職に。主な著書は『板谷波山の生涯』、『やきものの見方』など。展覧会『「図変り」大皿の世界 伊万里染付の美』、『没後50年板谷波山展』、『今右衛門の色鍋島』監修。

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定の変更もしくは中止する場合があります。最新の情報は、当館のウェブサイトにてご確認ください。



滋賀県立 陶芸の森 陶芸館



アクセス

□公共交通機関

○JR草津駅より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、信楽高原鐵道乗り換え「信楽駅」下車、徒歩20分(約75分)

○信楽高原鐵道「信楽駅」より甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」

または「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分)

□自動車

○新名神高速道路 信楽I.C. 約8分

○駐車場(無料) 普通車/約250台
大型バス/約10台